

【高等学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立鳥栖商業高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標を概ね満たしていると言える。B評価に留まった項目は、具体的取組を見直し、改善を進めていく。</li> <li>学力向上については言語活動に重きを置いているが、その他の基礎的な学習にも課題があるため、確かな学力を習得するための創意工夫のある授業を目指す必要がある。</li> <li>学校内に留まらず、企業や大学・専門学校と連携が増えている。これらの活動を深化させ、地域に寄与する人材の育成を目指す。</li> <li>広報については、SNSの利用が有効であることがわかってきた。現在行っている他の広報活動について取捨選択し、効果的・効率的なPRを目指す。</li> </ul>

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通のクロスポイントである鳥栖市で、ビジネスに関する専門的な知識と技能を習得し、地域に貢献する、創造力豊かな人材を育成すること。</li> <li>習得した知識や技能を生かし、地域の行政や企業等と様々な協働しながら、学校・地域双方の活性化に寄与すること。</li> </ul>
----------------------------	---

アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標
<p>商業に関する専門的な知識や技能習得への意欲が高く、将来の進路目標を実現するために意欲的に学習に取り組み、部活動や学校行事など、幅広い分野の活動に積極的に取り組むとするとする生徒</p>	<p>○教科等横断的教育課程 新しい時代に必要となる資質能力を教科横断的に育成する。 ○深い学びの実現 主体的・対話的な深い学びを通じて、思考力、判断力、表現力を育成する。 ○社会に開かれた教育課程 社会・地域の課題を教育課程と連携させる。 ○キャリア教育の充実 就業に関わる体験的な学習を通じて、望ましい勤労観、職業観を育成する。 ○PDCAサイクルの確立 生徒の姿や地域の現状等に基づき教育課程を編成、実施、評価して改善を図る。</p>	<p>○表現力 - 思いを伝える力 自分の気持ちや考えを表現・発信し、わかりやすく相手に伝える力 ○課題解決力 - 未来につなげる力 自ら課題を見つけ、対応策を考え、計画的に解決しようとする力 ○行動力 - 踏み出す力 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組もうとする力</p>	

5 重点取組内容・成果指標 最終評価

評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○言語活動を充実させ、主体的な学びを重視した授業を推進。	○学んだ事柄を言葉で説明することで、学力の向上や話し合い、発表への意欲が高まったと回答した生徒が80%以上。	・各教科で、授業で学んだ事柄を他者に説明する場面を設ける。 ・HR時に朝スピーチや朝読書を実施する。	A	・朝読書や朝スピーチを実施できた。 ・授業やその他の活動の中でも話し合い活動を取り入れることができた。 ・生徒アンケートで90%以上の生徒から肯定的回答を得た。	A	・肯定的な回答が90%以上であるので、十分目標は達成できている。 ・朝スピーチや朝読書は、良い活動であるので今後とも継続してもらいたい。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感謝する心など、豊かな心を身に付ける教育活動。	○「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」と答えた生徒90%以上。	・「情報処理」および「LHR」において、情報モラル教育や人権教育を実施する。 ・人権教育に関する講演会を実施する。	A	・「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」と答えた生徒98%以上。 ・人権講演会等を実施することができた。	A	・肯定的な回答が98%以上であるので、十分に目標は達成できている。 ・今後とも「心の教育」を継続してもらいたい。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実。	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	・いじめの認知をしたら、3日以内に対策委員会を開催する。 ・いじめの対応についての研修や拡大対策委員会を行う。	B	・いじめの件数は昨年より少なかった。 ・情報の共有を行い、組織的に対応することができた。 ・いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	B	・いじめの件数が減少したのは良かった。 ・今後ともいじめ防止のために組織的な対応をお願いしたい。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動。	○「佐賀に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒85%以上。	・郷土学習資料や「佐賀語り」、卒業生講話等を活用した授業を行う。 ・地元企業の魅力を伝えるキャリア教育、就職活動の支援を行う。	A	・「佐賀に誇りや愛着を感じる」の問いに、肯定的回答をした生徒が86%にのぼった。 ・佐賀にゆかりのある著名人を招き、講演を行い、ふるさと佐賀の魅力を伝えた。 ・2年生は1月と1月に地元企業の方を招き、各学科やコースに応じた体験的キャリア講話を実施した。1年生は10月に地元企業の事業所見学を行った。	A	肯定的な回答が86%以上であるので、十分に目標は達成できている。 ・生徒にとって有益であると思われる取り組みが行われており、今後とも継続してもらいたい。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成。	●「健康に良い食事をしている」生徒95%以上。	・外部講師を招き食育に関する講習会を実施する。	A	・講演会等を実施できた。 ・健康に良い食事をしている生徒は、96%以上。	A	・肯定的な回答が96%以上。十分に目標は達成できている。 ・食育の重要性は高まっている。今後とも継続してもらいたい。
	●安全に関する資質・能力の育成。	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・生徒会と月1回、交通安全指導を実施する。 ・外部講師を招いて交通安全講話を開催する。 ・集会等で交通安全について話し、生徒の意識を高めていく。	A	・交通指導や外部講師を招いての講演会を実施。 ・事故件数は少なく、大事に至るような案件はなかった。	A	・常日頃からの指導、講演会等のために事故件数が少なかったのは良かった。 ・自転車運転のマナーアップについては、社会的に注目されており、今後も継続していただきたい。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・年休取得を推進する。 ・定時退勤日及び閉庁日を設定する。 ・業務内容の精査、行事の見直しを行う。	B	・積極的に年休取得を呼び掛けた。 ・冬季休業中の年休も積極的に呼びかけた。 ・年休取得が少ない職員に対して取得を呼び掛けた。 ・国スポや北部総体関連業務もあり、時間外勤務の解消が難しかった。	B	・今年度は、国スポ等の行事もあり、多忙な年度だったのでお疲れ様でした。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上。	○配慮を要する生徒の特性理解に努めたと回答した教員90%以上。	・配慮が必要な生徒の情報を会議等で共有する。 ・講師を招いて職員研修を実施する。	B	・学年会に参加することはできなかったが、週1回程度、該当生徒の担任・学年主任や進路指導部と情報交換をすることができた。 ・1年生の保護者と面談を行い、専門機関での発達検査につなぐことができたケースが3件あった。	A	・指標は達成できたのは評価できる。

評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○心身ともに健康な生徒、および安全安心な学校づくり	○心身ともに健康な生徒、および安全安心な学校づくり。	○健康に関するアンケートで「心身ともに健康である」と回答する生徒85%以上。	・保健だよりを用いて、心と体の健康について情報発信をする。 ・心身の健康に関する掲示物を作成し、保健室や教室に掲示する。	A	・心身ともに健康であると回答した生徒は、96%以上。 ・保健だよりを通して、生徒への情報発信ができていた。	A	・指標が達成できたことは評価できる。 ・今後とも継続した情報発信をお願いしたい。
○確かな学力習得と進路実現に向けた、創意ある教育活動	○学習意欲を高める授業づくりと指導方法の改善。	○授業評価アンケート項目「授業に対する準備が万全であり先生の熱意が感じられる授業である。」で肯定的な回答90%以上。	・各教科で主体的対話的で深い学びを目指した授業研究会を実施する。 ・「課題研究」を通して、学科間の垣根を超えた創造性を身につけさせる。 ○資格取得を通して、達成感を感じたと答える生徒85%以上。	B	・アンケートの結果「授業に対する準備が万全であり先生の熱意が感じられる授業である。」は肯定的な回答95%で数値目標を達成した。 ・アンケート結果「資格取得を通して、達成感を感じることができた。」は肯定的な回答91%だった。	A	・指標が達成できたことは評価できる。
	○生徒・保護者が希望する進路の実現。	○生徒・保護者が希望する進路が実現できたと回答した生徒95%以上。(3年生)	・地元企業への訪問や情報交換を重点的に行い、情報提供を行う。 ・四年制大学等進学希望者に進学補習を実施する。	A	・地元企業への訪問や情報交換を行った。 ・四年制大学等進学希望者に進学補習を実施した。 ・アンケートの結果、生徒・保護者が希望する進路実現は99%だった。(3年生)	A	・指標が達成できたのは評価できる。 ・今後とも進路保障に取り組んでいただきたい。
★唯一無二の誇り高き学校づくり ○関係機関との連携を促進し、地域に貢献できる人材の育成	★商業教育の実践的・体験的な活動の充実と、県内外への情報発信。	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合85%以上、教職員の割合85%以上。 ★「なりたい自分になるために」前進していると回答する生徒の割合90%以上。	・「課題研究」で学科・コースの専門分野を生かして地域や企業と連携し、調査研究や作品制作などを主体的に行う。 ・「なりたい自分になるために」の資質能力を育成するため、高度資格取得に積極的に取り組む。	A	・自分の学校を中学生に勧めることができるという質問に対して肯定的回答をした生徒の割合90.7%、教職員100%。 ・「なりたい自分になるために」前進しているという質問に対して肯定的回答をした生徒の割合95.7%	A	・指標が達成できたことは評価できる。 ・今後とも継続した情報発信をお願いしたい。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>各評価項目ともに、数値目標はおおむね達成できた。B評価に留まったいくつかの項目については、今後とも改善を進めていく。</li> <li>確かな学力習得を目指し、全職員が今後とも授業改善に努めていく。</li> <li>業務内容の見直しと改善を図り、DX化を進めながら、組織的かつ効率的な業務遂行を目指す。</li> <li>広報活動については、県内高校の中でもSNSの情報発信回数が最も多く、今後とも効果的かつ効率的なPR活動を目指す。</li> </ul>
----------------	--